

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.44
2011.4

くしろ丹頂



青年部新役員決定!! 後列左から、工藤宏昌、石黒隆行、冨坂隆志、佐藤幸一
前列左から、瀬戸賢成、菱沼和也、高橋智久

C O N T E N T S

- 釧路丹頂農協青年部通常総会 1
- 釧路丹頂農協女性部通常総会 2
- 釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会
釧路丹頂農協酪農振興会通常総会 3
- チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム 4
- 普及センターだより 5
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報
辞令発令 6
- 東日本大地震に対する支援募金実施
新人紹介 / 退職者挨拶 7



チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム

釧路丹頂農協青年部通常総会開催

第5回 釧路丹頂農協青年部通常総会



挨拶を述べる斉藤和弘部長（写真中央）

青年部新役員

部 長	菱 沼 和 也	鶴居
副部長	高 橋 智 久	鶴居
〃	瀬 戸 賢 成	音白
理 事	佐 藤 幸 一	鶴居
〃	工 藤 宏 昌	音白
〃	石 黒 隆 行	音白
監 事	富 坂 隆 志	鶴居
〃	菅 原 善 伸	音白

三月二十四日、幌呂支所において第五回釧路丹頂農協青年部通常総会が開催されました。

開催にあたり、部員ほか出席者三十五名全員によりJA青年組織綱領を朗唱し、斉藤和弘部長からは、「口蹄疫の発生やTPP問題など、激動の一年でありましたが、今後とも牛乳消費拡大運動などを女性部と協力しながら意欲的に行なっていきたい。」と挨拶がありました。

議長には、鶴居支部の藤原雅敏さんにより議事が進行され、平成二十二年度事業報告並びに収支決算、平成二十三年度事業計画、役員選任などについて議案は全件承認され、総会は盛会裡に終了しました。



J A 青年組織綱領を朗唱



議長：藤原雅敏さん（鶴居支部）



釧路丹頂農協女性部通常総会 開催



女性部新役員

部 長	峯 田 弘 子	白糠
副部長	齊 藤 弘 子	鶴居
〃	吉 田 鈴 子	幌呂
〃	成 田 洋 子	音別
理 事	松 下 い ち 子	鶴居
〃	武 藤 和 江	幌呂
〃	細 野 利 奈	幌呂
〃	渋谷 幸 子	白糠
〃	村 上 明 子	音別
〃	菅 原 晴 美	音別
監 事	長 尾 信 子	鶴居
〃	對 木 美 由 紀	白糠

女性部新役員 後列左から、細野利奈、村上明子、渋谷幸子、松下いち子
長尾信子、對木美由紀、武藤和江
前列左から、齊藤弘子、峯田弘子、吉田鈴子、成田洋子

三月十七日、本所において第五回釧路丹頂農協女性部通常総会が開催されました。はじめに部員ほか出席者二十九名により、JA女性組織綱領を朗唱し、峯田弘子部長からは「今後も合併によるメリットを活かし、女性部交流を続けていくと同時に、一人でも多くの消費者の方々に牛乳を飲んでもらえるように消費拡大運動を続けていきたい。」と述べました。

議長には、鶴居支部の菊池栄子さんが務め、平成二十二年度事業報告並びに収支決算、平成二十三年事業計画、役員選任などについて協議し、議案は全件承認され総会は盛会裡に終了しました。



J A 女性組織綱領を朗唱



議長：菊池英子さん（鶴居支部）

釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会開催

三月二十四日、幌呂支所において第五回釧路丹頂農協乳牛改良同志会（瀧澤一成会長）定期総会が開催されました。

乳牛改良同志会鶴居支部及び乳牛改良同志会西部支部から十九名の会員が出席し、議長に鶴居支部の吉田晃博さんが選任され、平成二十二年度事業報告及び収支決算について、平成二十三年度事業計画及び収支予算について、会費の賦課及び徴収方法などについて協議し、議案は全件提案通り承認されました。



議長：吉田晃博さん（鶴居支部）

釧路丹頂農協酪農振興会 通常総会開催

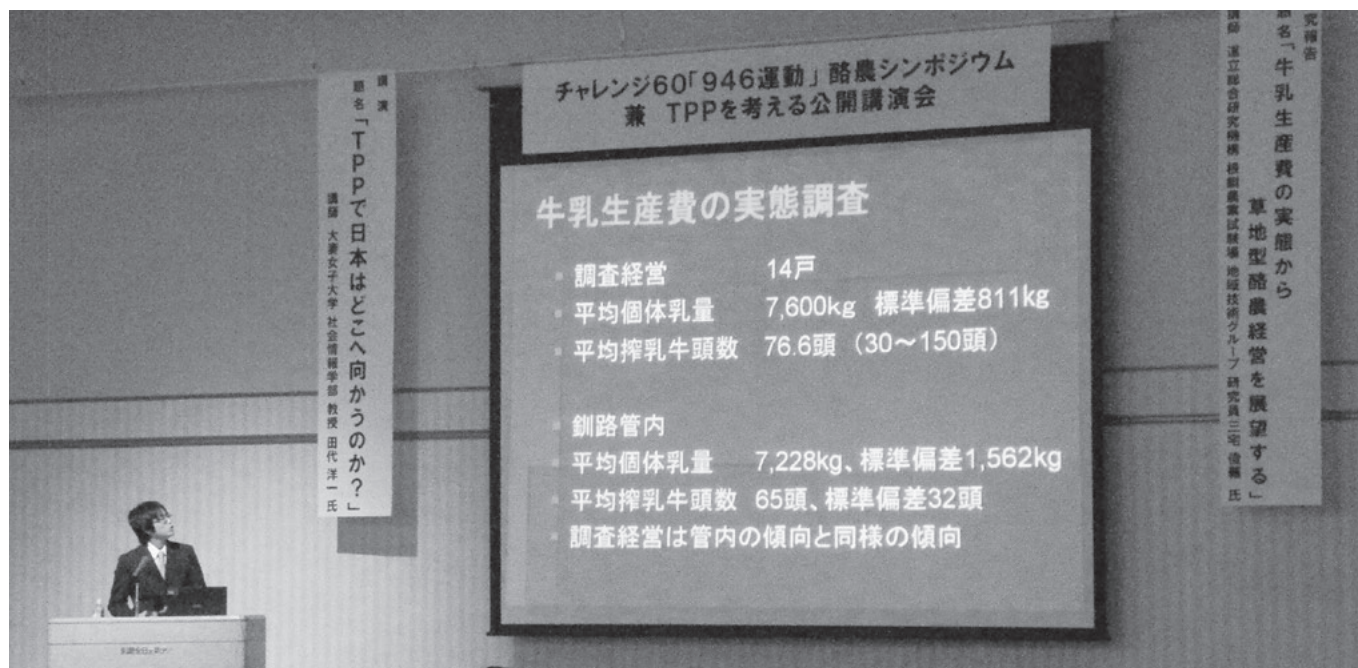
四月八日、幌呂支所において第六回釧路丹頂農協酪農振興会通常総会が開催されました。

鶴居、幌呂、白糠、音別の四支部から代議員十五名が出席し、議長に鶴居支部の合田徳三さんが選任され、平成二十二年度事業報告及び収支決算について、平成二十三年度事業計画及び収支予算について、会費の賦課及び徴収方法、規約の一部改正などについて協議し、議案は全件提案通り承認されました。



挨拶をする竹中憲之会長

チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム 開催



「牛乳生産費の実態から草地型酪農経営を展望する」 三宅俊輔氏

三月十八日、釧路全日空ホテルにおいて、チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムには、管内の酪農家や各関係機関から約百七十名が参加し、当JAから組合員・職員合わせて二十名が参加しました。

講演では、北海道立総合研究機構 根釧農業試験場 地域技術グループ 研究員 三宅俊輔氏から研究報告として「牛乳生産費の実態から草地型酪農経営を展望する」と題し、牛乳生産費の実態及び経営タイプごとの課題、また自分の農場の生産費の実態を知ることが重要などの説明がありました。

つづいて、大妻女子大学 社会情報学部 教授 田代洋一氏より、「TPPで日本はどこへ向かうのか？」と題し、TPPとは何か、TPPで日本はどこへ向かうかとしているのか、食品産業、酪農への影響などについての説明があり、大変意義のあるシンポジウムとなりました。

※チャレンジ60「946運動」は、①乳量9kg/頭以上②牧草4kg/10a以上③牛乳生産コスト60円/kg以下を目標に酪農経営の効率化を目指し、管内全体で取り組んでいる運動です。



出席者の様子



「TPPで日本はどこに向かうのか？」 田代洋一氏

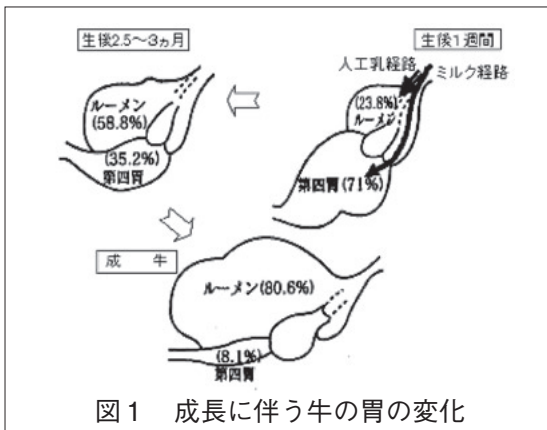
子牛の育成

離乳時の飼養管理

離乳は子牛が反芻動物へ切り替わる重要な時期です。子牛の健康や発育に影響を及ぼすようなストレスを与えず離乳できるように、準備していきましょう。

◎ルーメンを早く発達させる

生まれたばかりの子牛の胃はその七割が第四胃です。第一胃はまだ非常に小さく、ルーメン機能は不十分です。(図1) ルーメン機能を発達させるには、固形飼料の



人工乳(スターター)を早く食べられるようにすることが必要です。

① 人工乳の馴らし給与

人工乳は、出生後二日目にはひとつかみ程度(五〇〜一〇〇g)を直接口に入れて味を覚えさせます。数日で自分でたべるようになります。



人工乳に馴れてきたら水と一緒に常設

② 自由採食

人工乳は容器に一日分を入れて自由に食べさせるように入れます。水やよだれで汚れると腐敗しやすいので、注意しましょう。食い込み状況をよく観察して給与量を増やしていきます。

③ 水の給与

哺育中であっても水はとても大事です。衛生的な水を、いつでも飲めるようにしてあげましょう。ただし、飲んだ水が第四胃に流入してしまふことを防ぐため、哺乳後三〇分程度経過してから水を飲めるようにしてあげましょう。

◎ 離乳

離乳の目安は、人工乳を一日一kg以上、三日間連続して食べられるようになった時です。ルーメンが正常に発達すれば四〇〜五〇日で離乳が可能になります。

◎ 離乳方法

離乳には、一気に遮断する一発離乳と、哺乳量を減らして数日かけて段階的に離乳する方法があります。

・一発離乳は手間がかからず離乳後の人工乳の食い込みが一気に高まります。

・段階的に離乳する方法は、牛の状態を見ながら離乳でき下痢や鼓腸症の低減が期待できます。

◎ 離乳後の管理

離乳後は、カーフハッチなど個体管理から群管理に移行する時期です。

移行時のストレス発生防止のため、離乳と移行は同時に行わないようにしましょう。

○移行時は、一挙に他の育成牛と同居させない

・体高・体重の揃った子牛を、二〜三頭ずつ群で段階的に馴らし、広い施設と一緒に移行する。



衛生的な給水・飼料場の確保

移行先の施設には、食い負けない餌槽、衛生的給水施設・休息場づくりへも配慮し、発育停滞防止に努めましょう。

理 事 会 報 告

3月定例理事会

平成23年3月29日(火)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 定期（決算）監査報告について
4. 内部審査の結果について
5. 2月末（決算）財務状況について
6. 自己査定結果について
7. 事業の実施処理状況について
8. 経営定期点検の実施結果について

- 議案第5号 第5回通常総会の招集および提出議案について
 議案第6号 議決権行使書面の取扱いについて
 議案第7号 信用の供与等の最高限度額設定について
 議案第8号 理事に対する資金の貸付について
 議案第9号 役員と組合との取引基準の決定について
 議案第10号 大口信用供与先等に対する融資の承認について
 議案第11号 平成23年度コンプライアンス・プログラムの設定について
 議案第12号 「重要な運用方針」及び「リスク管理方針」の制定について

付議事項

- 議案第1号 平成22年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
 議案第2号 平成23年度事業計画の設定について
 議案第3号 平成23年度諸利率・料率の設定について
 議案第4号 貸付金の利率の最高限度について

- 議案第13号 余裕金預入金融機関の決定について
 ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 春季地区別懇談会の開催について
2. 建設委員会の設置について

■平成22年度 生乳生産実績（3月）

	月計乳量 (kg)	3月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,616,867.1	96.9	101,065,073.6	97.9
（鶴居地区）	2,762,767.4	94.4	33,009,176.5	97.1
（幌呂地区）	2,346,345.3	97.6	27,313,259.7	99.1
（白糠地区）	2,080,750.5	97.7	24,043,491.8	98.8
（音別地区）	1,427,003.9	99.7	16,699,145.6	96.5
管内計	45,558,146.9	99.7	535,197,017.5	99.5
（前年度管内計）	45,695,722.9		537,625,054.2	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

23年4月1日現在
(単位：千円)

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		290	210
初妊		590～550	550～510
経産	2産～3産	370	320
	4産～5産	320	270

初生とく

23年4月11日現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	1,100円/kg
	40kg～44kg	1,000円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種

23年3月15日音更市場

(価格：円・体重：kg)

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	594頭	602,700	97,650	377,176	286	1,318
	去勢	820頭	627,900	131,250	470,552	301	1,562

(提供／ホクレン帯広支所)

辞 令 発 令

平成23年4月1日付

氏名	新所属	旧所属
佐藤はるみ	管理部付 (株)ジェイエーコムズ出向	営農部 家畜改良課 家畜改良係
佃 政紀	白糠支所 家畜改良課 家畜改良係（新採用）	

東日本大地震により被災された皆様へ

この度の巨大地震及び大津波により亡くなられた多くの方々のご冥福を心よりお祈り致します。

また、被害にあわれましたみなさまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりご祈念申し上げます。

釧路丹頂農業協同組合
代表理事組合長 瀧澤 義一
他役職員一同

本震災に対し、北海道JAグループ全体で被災地及び道内漁業者、漁業団体への募金活動等を行ない、JAくしろ丹頂の募金額合計は1,278,133円（4月22日現在）となりました。組合員及び役職員の皆様方から多大なるご支援を頂き誠にありがとうございました。

今後とも皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

新入職員の紹介



つくだ まさき
佃 政 紀

■ 所属部署／白糠支所 家畜改良課 家畜改良係

■ 年 齢／19歳

■ 出 身 地／紋別郡興部町

■ 出 身 校／興部高等学校（平成22年卒）

ホクレン畜産技術研究所（平成23年終了）

■ 趣 味／スポーツ（サッカー、野球）

■ 組合員の皆さんへ一言

元氣良く頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

大変お世話になりました。



佐 藤 勇

購買部燃料課 鶴居給油所調査役

この度、平成23年3月31日をもって釧路丹頂農協を定年退職致しました。振り返りますと、平成6年に旧鶴居村農協に入組し、購買部生活課、燃料課と務めさせて頂き、組合員および地域の皆様、役職員、関係機関の皆様方には永きにわたりお世話になり、大変ありがとうございました。無事に務める事が出来たのは、ひとえに皆様方のおかげと深く感謝いたしております。

今後とも皆様には何かとお世話になることがあると思いますが、今迄同様ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。長い間お世話になり、誠にありがとうございました。

（本職員は、引き続き鶴居給油所に準職員として勤務しています。）

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE

□ 3月18日の酪農シンポジウムでは、三宅氏及び田代氏の貴重な講演を聞くことが出来、日本の在り方、農業の在り方が今迄以上に問われていると感じさせられました。

□ 東日本大地震から一ヶ月が過ぎ、現地の農協では、放射性物質への対応に追われ、酪農家の愕然とする現状をニュースなどで知り、今自分に出来ることは何かを考えさせられます。「この地域から酪農が消えることのないよう努力していく。」という現地組合長の言葉が心に響きました。